

燃える母校愛で
法政大学と法学部の
さらなる発展を！
第45号 2024(令和6)年3月1日

法政大学
法学部同窓会報

法政大学法学部同窓会
池上 貞純（同窓会会長）
〒104-0061
東京都中央区銀座2-4-1
銀泰ビルディング3階
齊藤友嘉法律事務所
TEL 03-6271-0085
FAX 03-6271-0089
E-mail:t.saitoh@hosei-hogakubu-dosokai.jp



はじめに、年初に発生した能登半島地震及び翌日の地震対応に向かう海保機と日航機の衝突事故により亡くなった方々には謹んでお悔やみも申し上げますとともに、被災された多くの皆様には心よりお見舞い申し上げます。

改めまして、令和6年の新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、コロナの行動制限が撤廃され、経済活動は急速に正常化が進んだ1年でした。欧米・日本の繁華街や観光地の入出は、コロナ前に戻ったような賑わい振りをみせています。大学でも対面授業が再開され正常化されています。

今年の法学部同窓会では、昨年定員の3倍近い150名の履修があった寄付講座や定期総会時の講演会・懇親会等の場を通じて、学生・卒業生の学びの支援に加え、就活支援も徐々に拡大してい

ご挨拶

法学部同窓会 会長 池上貞純

く方針です。対面での交流・懇談の場としては、先輩・同期・後輩の人脈・ネットワーク作りを進め、在学生・卒業生間の異業種の情報交換、人生相談等々ができる場へと徐々に拡充していきたいと考えています。この他、昨年は、コロナ禍で実施できなかった法学部教授会との意見交換会、谷根千の歴史と文豪等の

講義講師の慰労会等も復活させました。また、文京区の護国寺にある大学の初代総理の梅謙次郎教授の墓参にも初参加し、毎年墓参されてきた大学のメンバー方との交流の輪が広がりました。直近では、3月24日に法学部卒業生祝賀会を教職員と同窓会と一体で復活させる予定です。卒業生の方は、是非、今後、異業種の道に進む同窓生との交流の場の第一歩としてご参加下さい。

さて、今年卒業される皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

社会人として必要とされる学びは、大学までの教養段階の学びでは十分ではなく、これからの人生で広く、深く、学び続けて獲得していくものです。また、社会人として必要な能力（リーダーシップ、情報収集能力、創造力、企画力、コミュニケーション力、実行力、問題解決力など）は、それまでの重層的な学びを土台として、自分の仕事の軸を幾つか確り持ち、磨きあげてくものです。卒業段階で、「自分がやりたい仕事」をみつけている人はごく僅かだと思いますが、色々な仕事にチャレンジし、失敗も糧にして、早期に「自分がやりたい仕事」をみつけて下さい。同窓会はその輪を広げる支援を今後も継続していきます。ご健闘を祈ります。

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

卒業生の皆さんへ

法学部長 榎川泰史



ご卒業おめでとうございます。皆さんは、法政大学法学部での学業について「卒業所要単位修得」という一区切りを迎えて学士（法学）の学位を授与されたわけですが、学ぶことを終えたわけではありません。卒業後、ビジネスの世界に進む方、公務員や非営利の公共サービスに従事することになる方、専門の研究を深めようとしている方、さまざまだと思いますが、どのような道を選んだとしても、これからがいよいよ学びの本番だと言っていいたいでしょう。それぞれの道において、大学での学びを更に深めなければならぬ場面や、法学部で学んだ法律学、政治学、国際政治とは異なる分野の知識が必要となる場面はいくらでも訪れるはずです。しかし皆さんは、法学部での学びを通じて、自分が知りたいこと、学ぶべきことを体系的に学ぶ術を身につけてきているはず

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

皆さんに贈る言葉を一言申し上げます。法政大学は、全国トップクラスの優秀な学生が集う大学です。先輩方は、上場企業の社長数では全国大学で14位（2022年）、全国企業の社長数では全国大学で6位（2023年）と皆さん活躍されています。また、世界で活用されている、あのQRコードを発明した先輩の技術者もいらっしゃる。

令和5年度卒業生祝賀会のお知らせ

日時	令和6年3月24日（日）	会場	一棟3階「つどひ」
時間	午後5時30分より。卒業生の方は学位記授与後順次参集	参加者	法学部卒業生の皆さん、法学部教職員の皆さん
場所	市ヶ谷キャンパス 富士見ゲ	参加費	無料

熱心に「若い卒業生諸君の力になりたい」とおっしゃって下さっています。今年卒業される皆さんには、法政大学法学部同窓会に加入されて、仕事の間ではなかなか繋がりがもてないような方々との、あるいは一緒に法政大学で学んでいたはずだけれども知り合うチャンスがなかった同年代の友との出会いを通じて、共に助け合い、学び合って、豊かな人生を歩んでいく機会としていただければと願っております。

令和6年度定期総会・懇親会のお知らせ

日時	令和6年7月6日(土)
時間・場所	
受付開始	午前11時
定期総会	午前11時30分 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート棟教室
講演会開始	午後12時 同上
講師	関 正樹（元みずほ銀行副頭取、みずほ証券会長）
懇談会	午後13時 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート棟 3階「つどひ」
会費	学生は無料、会員は8,000円
最寄り駅	JR市ヶ谷駅から徒歩10分 東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅、都営新宿線市ヶ谷駅から徒歩10分

*昨年度に引き続き、リアル出席とZOOMを利用したリモート出席のいずれかを選択できるハイブリッド方式により開催します。
*今回から、同窓会との連絡手段については、出欠のご連絡を含めて、メールでお願いしたいと考えております。ご連絡を頂いた方には、会報及び今後の同窓会イベント情報等を事前に配信させていただきます。
*出欠通知の締切は別途お知らせいたします。出席の方には、メールアドレスに誤りがないようにご注意ください。

以上

建学の精神を思い起こして

大学院法務研究科長 高須 順一

2024年を迎え、新春の慶びを申し上げま

す。 判事・検事・弁護士という法曹を育成する専門職大学院制度が我が国において発足したのは2004年4月です。法政大学もこれに合わせて大学院法務研究科(以下、「法政法科大学院」といいます。)が設置されました。

したがって、法政法科大学院も20周年となり、この間、346名の司法試験合格者を輩出しています。全国の私立大学法科大学院中においてもベスト10に入っており、確固たる実績を有しています。

私は2018年度以来、6年間にわたり研究科長の職にありますが、法政大学のルーツに根ざす法政法科大学院をさらに充実、発展させるべく努力してまいりました。法政大学は1880年に



ご挨拶

法学部教授 武生 昌士

法学部同窓会寄付講座を担当しております武生でございます。4月から法政大学に相応しい陣容になりました。2020年度からは法学部に法曹コースが設置され、2021年度には法科大学院で特別入試制度が整備されました。これによって、3年生修了と同時に学部を早期卒業して、法科大学院の2年次に入学することが可能となり、学部と法科大学院の協働による法曹養成教育が可能となりました。このような連携、協働の試みをこれからもより充実したものにして行きたいと考えています。

さて、話が法科大学院との関係に終始しましたが、私自身、昭和57年3月に法政大学法学部を卒業したOBのひとりです。法学部には格別の愛着を持っています。今年、大学を卒業する皆さんは入学時からコロナ禍で学生生活も大きな制約を受けたことと思います。しかし、その経験を大切にして今後の人生の糧としてください。ご卒業、おめでとうございます。



が、24年度はさらに多くの学生に参加してもらえようになればと思います。このように先行きの不透明な中で卒業を迎え、新社会人として羽ばたくこととなる卒業生は、さぞ不安な気持ちを抱えていることと思います。こうした不安に立ち向かうには、本人の努力ももちろん大切ですが、友人との連帯や先輩からの助言・導きといったものも大変心強い手助けとなることでしょう。そのような意味において、これからの時代、法学部同窓会が果たし得る役割は、今まで以上に大きなものとなるように思われます。寄付講座担当教員として、同窓会の意義や価値について、現役の学生にしっかりと伝えられるよう努めてまいります。2023年度、現役学生が法学部同窓会の総会・講演会・懇親会に参加させていただきました

同窓の絆の価値というものにはなかなかピンと来ないものですが、卒業後しばらくすると、次第にその価値がわかってくるという類のものではないでしょうか。学部と同窓会が連携を深めることにより、現役学生に対してはよりそのニーズにそった学びを提供するとともに、卒業生に対しては絆と連帯の契機を今後もしっかりと提供していくことができればと思っております。



最後にりましたが、法政大学法学部同窓会のご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

（理事会運営はハイブリッド方式で継続実施）
原則毎月1回ハイブリッド方式によって継続開催しております。
また、4月以降は、池上貞純新会長の下で、会務運営に取り組んでおります。

令和5年8月以降の理事会では、①令和5年度の法政大学校友会外の諸団体の各種行事への対応、②法学部同窓会が実施すべき各種行事の企画、準備、③法政大学校友会の積立金の使途（会館施設建設その他）についての意見収集、④会報第45号の発行準備、⑤令和5年度法学部卒業生卒業祝賀会の準備等について協議して参りました。

法学部卒業生祝賀会の開催は4年ぶりとなることから、大学の法学部担当の職員との打合せを十分尽くしながら、法学部教員の先生方の参加や法政大学後援会との協力のあり方についても検討しながら、有意義な祝賀会となるよう準備を進めて参ります。

（広報活動）
本年度も引き続き会員に対する広報活動の充実・促進を図る。ホームページの運用については、より一層充実させ、会員及び当同窓会の活動に関心を寄せて頂いている方々に、十分活用して頂くように配慮する。

会報は、前半に1回、後半に1回の計2回発行する。

令和5年度活動実績について

事務局長 齊藤 友嘉

（各種行事の企画・実施）
新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、教授会・学部事務課職員との交流、卒業生祝賀会、東京六大学野球観戦、ハイキング・散策（谷根千散策会その他）、梅謙次郎墓参、寄付講座講師慰労会、その他文化的行事への参加等を企画・実施する。

令和5年8月以降の理事会では、①令和5年度の法政大学校友会外の諸団体の各種行事への対応、②法学部同窓会が実施すべき各種行事の企画、準備、③法政大学校友会の積立金の使途（会館施設建設その他）についての意見収集、④会報第45号の発行準備、⑤令和5年度法学部卒業生卒業祝賀会の準備等について協議して参りました。



（令和5年度定期総会報告）
令和5年度定期総会は、令和5年7月15日（土）午前11時30分から、法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート6階G601教室において、第一部定期総会と引き続き第二部講演会が開催されました。いずれもハイブリッド方式によって開催されました。

その後、午後1時10分から、富士見ゲート棟3階「つどひ」において第三部懇親会が開催されました。

第一部から第三部を通じて、招待者及び会員全体で54名のリアル出席者が参加されました。内現役法学部学生は8名でした。



【第一部 定期総会】
（開 会）

定刻に司会の蜂谷和弘理事によって開会されました。開会に先立ち物故者への黙祷を捧げました。

（会長挨拶）

池上貞純新会長から挨拶がなされました。
（法学部長挨拶）



橡川泰史法学部長からご挨拶を頂きました。
（議長選出）



会則第37条により、池上貞純会長が議長に選出されました。

議事録署名者には、山崎岳士会員が指名されました。

（議題・報告）

始めに、齊藤友嘉事務局長から令和4年（2022年）度活動報告がなされました。

続いて、大塚孝子財務室長から令和4年（20

22年）度決算報告がなされました。

その後、猪山雄治監事から、決算書及び財産目録は適正に作成され、かつ記載内容は適正である旨の監査報告がなされました。

続いて、齊藤友嘉事務局長から、令和5年（2023年）度活動方針について説明がなされました。

続いて、大塚孝子財務室長から、令和5年（2023年）度予算について説明がなされました。

（閉 会）

藤田明義副会長から閉会の辞が述べられ、午後0時5分頃閉会しました。

【第二部 講演会】

法政大学大学院法務研究科長である高須順一弁護士から、「法科大学院と新司法試験の動向」

（副題 「ボアソナードの夢再び」 本学最新司法試験事情」という演題で講演して頂きました。



終了後、講演会にリモートで参加された群馬県在住の狩野俊郎会員から、「私は1970年3月に法律学科を卒業した

狩野と申します。卒業後53年に初めて法学部同窓会定期総会にリモートで参加をさせて頂きました。

法学部の成り立ちについては、入学時に何となく読み聞きた程度で記憶の底に沈んでおり

ましたが、高須先生の講演を聴き、大学は夢の実現の場でもあること、そして、リードして下さる

人々によって今を力強く生きていることを強く感じました。今日は、ありがとうございました。」とのメッセージを事務局に寄せて頂きました。

【第三部 懇親会】

梶尾信禎副会長の司会で始まり、冒頭、下西孝副会長の主催者挨拶があり、続いて小林清宣法政

大学常務理事、池谷文雄校友会副会長、武生昌士法学部教授の来賓挨拶を頂きました。

その後、来賓の紹介があり、橡川泰史法学部長の祝辞・乾杯の音頭で懇談に入りました。



懇親会のリアル開催は4年ぶりで、参加された皆様は大いに歓談し、情報交換や懇親を深める機会となりました。懇親会

に参加した現役学生の方々も、先輩諸氏と有意



義な交流を図っている様子でした。

歓談は尽きないところでしたが、応援団のパフオーマンスと校歌斉唱をし、山崎正俊理事の閉会の辞で幕を閉じました。



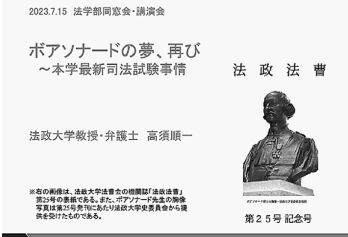
法学部同窓会・記念講演会報告

高須 順一
（法政大学大学院法務研究科長）

2023年7月15日、法政大学市ヶ谷キャンパス内の富士見ゲートG601教室において、法学部同窓会定期総会が実施されました。これに併せて記念講演が実施され、私が、「ボアソナードの夢再び―本学最新司法試験事情」という演題で、東京法学社の伝統を引き継ぐ法政大学法学部と大学院法務研究科（以下「法政法科大学院」といいます。）の最近の活動状況を話させていただきました。



当日、使用したパワーポイントの各スライドのタイトルによれば以下のような内容となります。
(1)ボアソナード先生のこと、(2)法政大学の建学の歴史、(3)東京法学社を作った人たち、(4)東京法学社とボアソナード、(5)法政大学法学部の歴史、(6)法政法科大学院との協働、(7)法政法科大学院の状況①…危機の時代、(8)法政法科大学院の状況②…光明、(9)法政法科大学



院の状況③…法学部との協働、(10)ボアソナードそして建学の父たちの夢再び、(11)最後に…建学150周年に向けての夢タイトル名の通り、1880年の東京法学社設立に遡り、学校ではなく

い。」というキャッチフレーズも披露させていただきました。

私は、1982年3月に法政大学法学部を卒業し、以後、弁護士をしながら法学部の非常勤講師となり、2004年4月からは法政法科大学院の専任教員となりました。

法学部の学生、法学部講師、法科大学院教授と常に法政大学に関わらせていただく中で、下森定元法政大学総長や遠藤光男元最高裁判所判事をはじめとする多くの恩師と出会うことができました。

そして、池上貞純法学部同窓会長や岸岡正比古同窓会長の学友にも恵まれました。約半世紀に及ぶ法政大学との縁を噛み締めながらの記憶に残る、そして、楽しい記念講演会となりました。

講師プロフィール①



昭和59年4月 法政大学法学部入学
・学部時代は本学の坂下教室先生（民法・法政大学部長）のゼミナールに所属し、大学卒業後、高須先生が中退された後継者として、後継者として後継者を預託した。
昭和63年4月 弁護士登録
・弁護士登録と同時に本学出身の弁護士で非常勤講師に就かれた高須先生（元東京大学法学部教授）の事務所に入り、以後、高須先生が平成28年にご逝去されるまで28年間、お仕えさせて頂いた。
平成28年4月 法政大学法学部非常勤講師
・以後、34年におよぶ法政（高須ゼミ）を担い、ゼミ出身の弁護士、裁判官、検事は80名を超える。



2023年司法試験の合格発表が2023年11月8日にあり、12月12日には合格祝賀会が行われました。法政大学関係では、法政大学法科大学院（大学院法務研究科）の修了生が15名、法政大学を卒業して他大の法科大学院に進学し、あるいは予備試験に合格し、司法試験を合格したものが9名、合計で24名の合格者となりました。法政法科大学院出身者は17名であり、実績を残してくれました。また女性の合格者も9名となり、法政大学においても女性の司法試験合格者が確実に増加しています。全国の主要私立大学法科大学院の合格率順位は第7位となりました。この5年間の合格者の増減率でも217%となっており、この5年間で合格者が倍増しています。法政大学出身の卒業生・修了生が大いに健闘してくれました。これから司法試験を受験する皆さんにエールを送りたいと思います。

令和5年司法試験合格者の結果について

高須 順一
（法政大学大学院法務研究科長）



寄付講座の実施状況について

担当教員 武生 昌士



2023年度の寄付講座は、開講する学期・曜日・時限が受講者数に与える影響を見極めるべく、2022年度の秋学期金曜4限（15：00～16：40）から、春学期月曜2限（10：40～12：20）へとコマ配置を変更して実施をさせていただきました。講師の先生方には何かと負担をおかけすることとなりましたが、お蔭をもちまして2022年度に比べ受講者は2・5倍ほどに増え、150名と多くの学生に履修してもらうことができました。受講者数が伸びたことは喜ばしい限りですが、反面、大教室の授業で私語が目立つようになってしまった点は今後の

課題となりました。学生の声を聞いてみると、金曜4限よりは月曜2限の方が、他の科目との兼ね合いもあって履修しやすいようです。また、春学期開講の方が就活の参考にしやすいとの声も寄せられました。こうした点に鑑み、2024年度も引き続き春学期月曜2限で開講させていただきますことを予定しております。引き続きご高配を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

谷根千散策会記

小野寺 素子

秋らしい爽やかな好天に恵まれた令和5年11月23日の勤労感謝の日、有志9人による『谷根千散策会』が開催されました。

台東区から文京区にかけて広がる『谷根千(谷中・根津・千駄木)』地域は、言わずと知れた人気の観光エリアですが、こちらは池上会長の地元であるばかりか、齋藤事務局長も永らく住まわれていた縁で、今回が初となる『街歩き企画』が実現しました。



最強のガイドお二人にご案内いただきツアーは、根津駅前に集合し、近接する東京大学構内にある『弥生式土器発掘かりの地』からスタート。発掘された町名が名



前の由来となった土器：とのトリビアに耳を傾けながら、猫の彫像も愛ら



そして旧藍染川の暗渠「へび道」までを4時間ほどで巡りました。歴史や文学の舞台とな



った様々な場所を訪ねるべく、池上会長・齋藤事務局長が綿密に組まれたコースでしたが、参加者の面々は、沿道にある老



川乱歩の『D坂の殺人事件』の舞台「団子坂」を下り、大賑わいの「谷中ぎんざ」夕焼けだんだんを抜けて、数多の著名人が眠る「谷中霊園」、

「野球応援を通じて会員同士の絆を強めよう！」

企画委員長

梶尾 信禎



津のちゃんこ屋「大麒麟」に、散策メンバーのほか2人が加わって開宴となりました。



美味しいお鍋を囲みながら話は尽きず、「次」はどちらに？と、早くも第2弾・第3弾をリクエストするお声も上がる



中、大盛況のうちに開きとなりました。本企画にご尽力いただいた池上会長そして齋藤事務局長に、改めて感謝申し上げます。

訃報／金子征史前会長

事務局長 齊藤友嘉



ました。が、常務理事退任後の平成18年7月に会長に就任され、以後令和5年3月まで法学部同窓会の会長をお務め下さいました。

法学部同窓会の前会長金子征史先生が、令和6年2月15日に逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

金子前会長は、法学部同窓会創立の際、副会長に選任され、その後法政大学常務理事に選任されたため副会長を辞任され

に乗って頂きご指導を賜りました。

金子前会長は、法政大学の生え抜きの研究者としても多大な成果を残され、後進の教育にも心血を注がれました。

最近、体調が優れないと伺ってはおりましたが、急な訃報に接し、誠に残念で堪りません。

金子前会長には衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも法学部同窓会の行く末を見守って頂きたいと存じます。

なお、ご葬儀は親族葬で執り行われました。ご自宅への弔問はご辞退したいとのことでした。

訃報／小野瀬敬二理事

事務局長 齊藤友嘉



集、印刷手配、発送手配まで、ほとんど小野瀬理事が一人で担って頂きました。

法学部同窓会の小野瀬敬二理事が、令和5年9月に86歳で逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、法学部同窓会の会員名簿の編纂、創立15周年記念誌等の様々な冊子の発行についても、小野瀬理事が中心となってお務め頂きました。法学部同窓会の会報の発行に

関しては、企画から編

法政大学法学部同窓会会長
法政大学評議員

池上 貞純

〒113-0031 東京都文京区根津2-1-35
電話 080-13088-6600
E-mail: kagam10108@yahoo.co.jp

昭和57年3月法学部法律学科卒業
日中友好協会 理事長
北一明記念館共同代表
法学部同窓会 副会長

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-39-17
電話 080-16528-2504
E-mail: tanakagkyou473@gmail.com

1969年3月卒業
法政大学理事
法政大学校友会顧問

小林 清宣

〒959-0248 新潟県燕市吉田浜首町三十一十五
昭和50年3月法学部法律学科卒業
法政大学法曹会副会長
法政士業の会副会長

山崎 雅彦

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋二一六八九
トリアビル二〇三号 山崎雅彦法律事務所
電話 03 (3221) 6222

昭和50年3月卒業
法政大学法学部同窓会 事務局長

齊藤 友嘉

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-1
銀葉ビルディング三階
電話 03 (6277) 0085
FAX 03 (6277) 0089
E-mail: satoh@hosi-rokaku-cho.co.jp

昭和52年3月法学部法律学科卒業
日本不動産研究所ブランドフェロー
不動産鑑定士

市川 喜通

〒063-0865 札幌市西区八軒五条東四丁目五の三五の八〇八
電話 011-709-0670

昭和四十四年三月卒業・須永ゼミOB
法政大学校友会監事

山崎 正俊

〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目八番九号
福田ビル五階
電話 03 (3233) 3501

昭和45年3月卒業
法学部同窓会財務室長
法政大学監事

大塚 孝子
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-11-5
市ヶ谷法曹ビル809 大塚孝子法律事務所
電話 03-3262-7141

原田 寛

〒120-0034 東京都足立区千住二二三番五ビル
電話 03 (6812) 1655
E-mail: harada@nakamura-harada-pai.jp

昭和45年3月法学部法律学科卒業